

第11回日展

第4科（工芸美術） 特選授賞理由

題名

芽ぐむ

授賞理由

植物の種子や木の芽が吹き出す瞬間の生命のエネルギーを表現したフォルムは乾漆技法で創られている。漆を何層にも重ねていく事で朱色や独特な質感が生み出され、見る人に強い印象を与える秀作である。

作者名

井上絵美子

題名

Aqua・屋久島

授賞理由

雨をのみこむ神々しい屋久島のくぐり杉。作者はその清冽な気にあふれる瞬間をとらえた。ロウケツ染による的確な色面構成と澄みわたる染料の特性、主題が絶妙なバランスを示す作品として高く評価したい。

作者名

下村純子

風にのって

授賞理由

知り尽くした加賀友禅の染めの技術を自身の染めに求め、渡り鳥の想いを繊細でスピード感ある曲線と直線により構成された画面に表出させている。染色技術と表現との整合性、あり様を教えてくれる作品となっている。

大西重広

涛

授賞理由

籐というしなやかな素材で、ここまで力強い作品が出来るかと感嘆した。引いて行く波は伝統的な鉄線編み。押し寄せる波には作者が考案した軽やかだが複雑な編み方で構成している。柔らかさの中に芯の強さを感じる秀作である。

竹河いみ子

α 神殿

授賞理由

金属による立体構成の作品で、規則正しく整理された角柱と平面の扱いがバランスよく統一されている。彫刻的建築的空間構成により、題名のように精神的核の聖域を神殿と考える作者の思いが伝わる秀作である。

木本一之

光の雨

授賞理由

作者の感じた「光」を銀箔を重ね何度も焼成を繰り返す事により、複雑な銀の光を巧みに操り、広大な宇宙空間をイメージさせる力感溢れる作品に仕上がっている。

戸出克彦

Departure 出発

授賞理由

現代を想い、平和を願い、新しい時代へ出発しようという強い思いを金属の持つ力強い直線で現わし、作品の表面の細かく刻まれた線から、作者の優しいまなざしの感じられる秀作です。

葛井保秀

始まり

授賞理由

内面の中央の核から点は光となり、受け継がれる命の如く、永遠の命の始まりを表現した本作。技法的には串状の道具を用いて、一点一点を刺突する点刻文を施し、黒と白の配色で文様を強調させて作品の存在感を創り出している。

富岡大資

象嵌彩 晩秋の夕暮れ

授賞理由

陶芸の世界では古くから伝わる技法に象嵌があります。作者はこの技法を駆使して、夕暮れ時に巣に帰って来た雀をモチーフにして詩情豊かな心象風景を作り上げています。雀の囀りが聞こえてきそうな優品です。

近藤 学

月の稜線

授賞理由

月面の起伏とそこに照らされる太陽の線光、陰影をイメージして制作された作品である。中心に向かう細く繊細な線は、形を引き締め、見る者を引き付け、魅力ある作品となっている。

西川 勝